

阪和興業 中期経営計画の進捗状況

## (1) 定量目標に対する実績

計 画 期 間		2016年度から2019年度						
		2016年度 (実績)	2017年度 第 3 四 半 期		2018年度 (目標)	2019年度 (目標)		
			(実績)	(進捗率)			(目標)	
業績 目標	売上高 (億円)	15,140	<b>13,065</b>	76.9%	17,000	18,500	20,000	
	経常利益 (億円)	① STEADY	191	<b>145</b>	81.0%	180	190	200
		② SPEEDY	31	<b>51</b>	113.4%	45	50	60
		小 計	222	<b>196</b>	87.5%	225	240	260
		③ STRATEGIC	7	<b>△ 22</b>	-	15	80	90
		調整額	0	<b>△ 0</b>	-	-	-	-
連結財務諸表計上額	229	<b>173</b>	72.4%	240	320	350		
新規ユーザー獲得社数 ( 累 計 )		697	<b>524</b>	78.6%	(667)	(668)	(668)	
		(697)	<b>(1,221)</b>	(45.2%)			2,700	
投資総額 (億円) ( 累 計 )		112	<b>241</b>					
		(112)	<b>(353)</b>	(70.7%)			500	

※① STEADY… 既存の事業基盤からの収益

(当社子会社及び③に該当する戦略的投資先からの受取配当金を控除した当社単体の経常利益)

② SPEEDY… 投資したグループ会社からの収益

(当社連結子会社の経常利益、非連結子会社からの受取配当金及び持分法投資損益 (③に該当する戦略的投資対象会社分を除く))

③ STRATEGIC… 戦略的投資からの追加収益

(金属資源を中心とする戦略的投資先からの持分法投資損益及び受取配当金)

## (2) 進捗状況

①STEADY および②SPEEDY から成る当社グループの事業収益については、通期予想に対する進捗率 87.5%と順調に推移しておりますが、資源投資からの収益である③STRATEGIC については、平成 31 年 3 月期決算からの利益貢献となる見込みです。3つの「S」それぞれの状況は、以下の通りです。

- ① STEADYについては、各事業分野の販売が概ね堅調に推移した他、当社グループ外からの受取配当金収入の増加や為替差損の減少などもあり、標準進捗率 (75%) を上回りました。
- ② SPEEDYについては、米国の販売子会社は一時的要因により赤字ではあるものの、その他の国内外の連結子会社及び持分法適用会社の業績は概ね好調に推移しており、標準進捗率を上回りました。
- ③ STRATEGICについては、当連結会計年度から持分法適用会社となったSAMANCOR CHROME HOLDINGS PROPRIETARY LIMITED (以下、SAMANCOR社) からの持分法投資損益が、適用初年度の損益取込対象期間である当第 2 四半期連結会計期間以降のクロム価格の大幅な下落により、当社に帰属する持分利益の寄与がなかったことに加えて、持分法適用初年度における未実現利益の消去やのれん償却などの費用処理が発生したため、約22億円のマイナスとなり、標準進捗率に対し大きく未達となりました。なお、SAMANCOR社からは約10億円の配当金を受領しております。

(注) 上記の定量目標数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因によって目標数値と異なる場合があります。特に③STRATEGIC については、今後の資源価格や為替などの動向により、変動する可能性があります。

以上